2014/8/21 編集版

JICA ボランティア派遣国での

気候変動の影響

及び「温暖化に関する教育・啓発活動および調査活動」

に関する報告

フィリピン：海岸や川岸に竹や廃材などで作った貧困層の簡素な家。大雨や台風でもあれば…と心配は尽きない。(2014. 6)

～VOL.1　アジア①

フィリピン・タイ編～

2011　タイ・大洪水

2013　フィリピン・台風ハイエン(30号)

タイ洪水は町中の市場も襲った。土嚢を積んで作った水路で水を逃がす中を歩く少女(2011. 10)

情報提供：訓練所気候変動セミナー参加者

編集責任者：青年海外協力隊愛知県OB会　途上国と気候変動問題研究委員会

池田　直樹（H7-2　ケニア　理数科教師）

情報収集支援･協力：

青年海外協力隊事務局
青年海外協力隊駒ケ根訓練所
青年海外協力隊二本松訓練所
国際環境 NGO　FoE Japan
下保木伸悟 OV（H17-1　マーシャル　環境教育）
馬渡ふじ香 OV（H17-1　グアテマラ　環境教育）
柳井真結子 OV（H16-1　ニカラグア　環境教育）

目 次

アジア① 【2 ヶ国/ 件】 p3

p3 ・フィリピン 【16 件】

p15 ・タイ 【19 件】

アジア

フィリピン

2011（平成 23）年

2011 年 9 月 27 日にフィリピンを襲った台風について、OCHA（=国連人道問題調整事務所）神戸は次のように伝えました。

台風「ネサット」－2011 年 9 月

(27/09/2011, TC-2011-000147-PHL)

台風「ネサット」（フィリピン名「Pedrung」）は 27 日にフィリピン東部ルソン島に上陸し、少なくとも 635 世帯が被災。洪水や土砂災害の危険性が高まっており、約 112,000 人に避難指示が出ている。

これについて、フィリピンに派遣中のボランティアお二人から、次のような情報が届けられました。

このお二人に関しては、9 月 29 日現在では特に被害には遭われていない、とのことで、一安心しております。

台風 17・19 号連続上陸（17 号①）

（11/9/28 着）

こんにちは。

お忙しい中、台風のお見舞いメールをありがとうございます！

私の町では、27 日は丸 1 日（～夕方 5 時まで）計画停電が行われていて、情報源がなかったので、台風の被害状況について全く知りませんでした。

いただいたメールを夜に拝見して、そんなに大事だったのかと驚きました。

フィリピンの台風は、暴風警報シグナル 1～4（最大）で程度を表します。

私の地域は 1～2 でしたが、強風でバナナの木がゆっさゆっさと揺れていたので、それ以上強かったら根から倒れてしまいそうでした。

カウンターパートからは、マニラ市トンド地区で洪水が起きて、500 世帯が避難したと聞きました（テレビのニュースより）。

トンド地区は、フィリピンで最も貧しいとされる地域で、人口密度世界最高レベル、過去のスモーキーマウンテンで有名な場所です。

自然災害ですが、貧困がより大きな被害につながるのが何とも言えないところですね。

貧しい人は本当に簡単な作りの家に住んでいますし。

昔と異なり乾季・雨季が不明瞭

（11/9/28 着）

ちょっと話題は変わりますが、私の地域（ルソン島南東端）の気候変動についてです。

この町出身のカウンターパート（50 代）によると、昔とかなり気候が違うそうです。

昔は、乾季と雨季があったところが、今ははっきりとした乾季がない。

昔は、雨季の中でも、降雨量がはっきりと多い月があった

のが、今はそういった顕著な違いがない。

やっぱり地球温暖化の影響だろうか、というのが彼女の意見です。

台風 17・19 号連続上陸（17 号②）

（11/9/29 着）

……（略）……

御存じのとおり、フィリピンはこの時期台風の大きな被害を受けます。

首都マニラでさえ排水機能が悪く、スコールさえ頻繁に洪水になります。

地方では川や海と共存した生活を送っているため、更に被害が大きくなってしまいます。

幸いに、私が活動している任地はネグロス島いうセブ島の西側に位置する島で台風の影響を直接受けることはありません。ただ、この数日間は風が強かったです

2013（平成 25）年

フィリピンで 6～8 月に繰り返された 大雨・台風 それによって引き起こされた大規模な 洪水・地滑り被害

（13/9/16 着）

次のようなフィリピンに関する「OCHA 災害情報」をご紹介しました。

==========

フィリピン　洪水と地滑り

Philippines: Floods and Landslides - Aug 2013

Affected countries: Philippines

※モンスーンの雨、台風の繰り返しで、ずいぶん被害が出ていたようです。10 万人単位の避難民が出ていたようですが…。

※最新のまとめの報告は

OCHA, 22 Aug 2013　です。

==========

「OCHA」の報告をよく読むと、避難を余儀なくされた人の数は 18 万人となっています

また、この災害は 6 月まで遡ってその原因を探らなければならないようです。

これについてフィリピン派遣中のボランティアから、この 3 か月の様子の概略を今回お寄せ頂きました。

（…前略）

私の任地が山間部なので、洪水の影響は特に受けておりませんが、ニュースで流れている洪水の様子等は少しお伝え出来るかと思います。

ここ数ヶ月にあったことを記憶している限りでお伝えしますので、不確かさが残ってしまいますが、ご了承くださいませ。

8 月 20 日頃　マニラで大規模な洪水発生。その影響でマニラの空港が閉鎖（約 2 日間）。JICA より「暫くはマニラに近づかないよう」との連絡あり。一部の地域で水位が胸くらいに達しているニュースが流れる。

8 月 10 日頃　台風でオーロラ州（ルソン島中部東側）への道が決壊し、住民が一時孤立。

6 月～7 月　マニラで大規模な洪水発生。川が決壊し、川に捨てられたゴミが市内に溢れる。

政府は川沿いに住む非定住住民の退去を決め、住民が抗議デモを繰り返し行った。政府は代替住居の提供と見舞金の支払いを行うことにし、一部住民は要請に従ったが、一部住民は反発している。

この洪水の後、商業都市マカティ市は洪水対策の一環で、市内でのプラスチック製袋の提供を禁止し、違反した事業者に罰則を設けた。

概して、マニラは海抜が低いため、洪水が起こることは珍しくないそうです。

来比してまだ日が浅いため、以前との比較はあまり出来ておりません。

あまりお役に立てる情報でなく申し訳ありませんが、よろしくお願い致します。

上記メールに関する池田の質問(Q)と、ご報告頂いたボランティア様のご回答(A)も付記します。

Q(池田):

特に、非定住地域に住む人々、即ちそれは“草の根”に当てはまる人々という解釈でよいのでしょうか、結局その立場の方たちが真っ先に被害に遭う、ということなのですね。ついつい言葉を無くしてしまいます。

***A*：**

「非定住地域」という言葉が適切では無かったかもしれませんが、いろんな地域からマニラにやって来て、簡素な家を作って住み着いている方々が、マニラにはたくさんいます。そのような方々のことを指しています。

Q(池田):

「プラスチックの袋を禁止」とのことでした。これはどういうことの対策となるのか、よろしければまたお教えください。

***A*：**

川沿いに(勝手に)家を作って住んでいた人たちが、川にゴミを捨てていたため、洪水発生時、大量のゴミが水はけを悪くしてしまい洪水被害が拡大した、というのが行政側の認識のようです。

この「ゴミ対策」のために、①川沿い住民を退去させ、②プラスチックゴミが川の流れを塞ぐことの無いように、プラスチック袋の提供禁止とした、という流れになっています。

取り急ぎ、ご質問いただいた件を回答させていただきます。

日本では三連休が台風の被害で大変な状況になっているようですね。被害がこれ以上拡大しないよう、祈るばかりです。

フィリピンの大雨・洪水(6~8月)では「ミンダナオ島が心配」
（追加情報より）

(13/9/18 着)

池田さま

お世話になっております。

お見舞いのご連絡を頂き誠にありがとうございます。

サイトを見させていただきましたが、被害が深刻なのは「Mindanao 島」のようですね。

私の任地は「Mindoro 島」といいまして、ややこしいのですが別の島なのです。

なお今回問題になっている Mindanao 島は自然災害が多発しているようです。

現在のところ、任地 Mindro は問題ありません。

ただ同じフィリピンですので今後の様子を注視したいと思っています。

今後なにか事態に変化が見られましたらまたご連絡差し上げます。

この度はご心配いただきありがとうございました。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

2013 台風 30 号関連　①

フィリピンより
現地ボランティアから
様子が伝えられてきました

～「一部のボランティアと
連絡取れず」～

（ボランティア A 様より　13/11/10　10:39 着）

池田さま

（前略）

私は幸いマニラにおり、特に被害は受けてはいません。ただ、他の**レイテ島の隊員とは一部連絡がとれず**、心配な限りです。

レイテ、ルソンの一部では昨日今日まで電気が来ず暗闇で生活していたという話も聞きました。

通信状況も悪いようです。

こちらのニュースでもなにか最新でわかったことがあればお知らせいたします。

よろしくお願いします！

**（10.15 地震の支援依頼者でもあるボランティア B 様より
第 1 報　13/11/10　14:15 着）**

池田様、愛知県 OB 会の皆様

（前略）

私の任地でも電気が復旧せず現在は発電機のある場所からメールをお送りしております。

まず、ボホール地震に関して、ご入金をいただき誠にありがとうございました。

フィリピン協力隊を代表して御礼を申し上げます。

ご支援いただきた資金は大切に使用させていただき、責任を持って報告書を作成する所存です。

地震被害の大きかったボホール島での先日の台風の影響は現在調査中ですが、隊員の安否確認はでき、今のところ大きな被害は出ていないという情報が入ってきております。

そして先日の 11 月 8 日の台風ですが、こちらの被害は甚大なようです。

被害の大きいとされている**レイテ島とは台風の当日朝以降携帯電話がつながらず、レイテ島の隊員 3 人の安否確認ができていない状況**です。

本日 JICA 職員がレイテに向かい、隊員の安否確認を行う予定です。

もう一つの被害が大きいとされているサマール島へは隊員は派遣されておりません。

また被害の状況は不明ですが**パナイ島の隊員数名も携帯電話回線が故障し安否確認ができていないようです**。

なお、ミンドロ島は台風の進路でしたが、大きな被害はなく済みました。

（後略）

**（10.15 地震の支援依頼者でもあるボランティア B 様より
第 2 報　13/11/10　17:28 着）**

池田様

最新情報として**レイテ島の 3 名のみ安全確認ができておりません。**

本日夕方 JICA 職員がレイテ入りする予定です。

残りの隊員は安全確認ができました。

レイテ島に関しましてはいろいろな報道がありますが、どれくらいの被害があるのかまだ把握できておりません。

また報道は少ないですが、**パナイ島**では 50 名以上が亡くなり、同島北部では 90%の家屋が全壊している地域もあり、**ある隊員は同僚の誰とも安全確認ができていないとのことです。**

新しい情報が入りましたらまた共有させていただきます。

（ボランティア C 様より　13/11/10　14:36 着）

池田様

地震被害の支援の依頼者から連絡のあったボホール地震の支援、迅速にご対応いただき本当にありがとうございました。

台風の件、私自身は何も問題ありませんが、**レイテの隊員数人と連絡が取れず**、JICA も状況把握に全力を挙げているようです。今はただ、全員の無事を祈っているのみです。

取り急ぎご連絡まで。

2013 台風 30 号関連　②

「全員の安否が確認できたそうです!!」

（ボランティア A 様より　13/11/10　04:23 着）

池田さま

（前略）

JICA 事務所の情報によりますと、現在全ての隊員との連絡は取れた、とのことです。

パナイの隊員については、私は直接情報はないのですが、全ての隊員との連絡はとれているということなので、大丈夫かと思います。

レイテ隊員については、ネット環境の不安定さから一度連絡がついてもまた切断されてしまう、という状況のようです。

現在、レイテ隊員には安全を確保しながらも出来るだけ早くマニラに上がって来るように、との指示が出されて居ます。

以上、取り急ぎご報告です。

また迅速な義援金**（注：地震被害に対するもの）**のご対応、ありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。

（10.15 地震の支援依頼者でもあるボランティア B 様より　13/11/12　10:31 着）

池田様、愛知県 OB 会の皆様

（前略）

おかげさまで昨日(11 月 11 日)中に全協力隊員の無事が確認されました。

ご心配をおかけいたしました。

Q(池田)：

昨日のご連絡ですと、安否確認のできていない方は 3 名とのことでした。しかしマスコミ各社は「2 名の安否の確認ができた」と報じていました。すると、もう 3 名のうちのもう 1 名は、比較的早い段階で連絡が取れ、報道の対象ではなかったということでしょうか。

A(ボランティア B 様)：

はい、その通りでございます。もう一名は昨日の午前中に安全確認できました。

Q(池田):

一方、先ほどの日本テレビのニュース ZERO では、「1 人はビルの 3 階に避難していた」と伝えたようです。

この「1 人」というのが、上に書いた「もう 1 名」のことなのか、それとも上の「2 人」のうちのお一人なのか、どちらだったでしょうか。

A(ボランティアＢ様)： 「2 名」のうちの一人です。

Q(池田)：パナイの隊員さんとも連絡がついていないとのことでしたが。

A(ボランティアＢ様)：

当日は携帯電話が通じず連絡が取れなかったものの、2 日目以降にパナイ島の全隊員と連絡がとれました。

また、ボホール島(10 月 15 日の地震の被災地)に関しましては、現場の隊員が調査を終え「大きな被害はなく、JICA や協力隊が支援している地域も特に目立った被害はない」との情報が入ってきました。

ご心配をいただきまして誠にありがとうございます。

引き続き宜しくお願い致します。

2013 台風 30 号関連　③
「大変な現状にあることを伝えていると思います」 ～フィリピンの ご友人からの手紙～

（阿知波加世子シニア OV 様より　13/11/18　09:12 着）

池田様

静岡の阿知波です。

フィリピン在住の私の知人からのメールです。

彼女はJICAのSVとしてモンゴルに赴任中に知り合った若い女性です。フィリピンから福祉関係のボランティアとして来ていました。

大変な現状にあること伝えていると思います。取り急ぎ情報としてお伝えします。

Dear Kayoko, Thanks for ur concern too. I was able to go home last Friday because I got sick. I was able to witness the devastation that Yolanda left us. So sad. How r u and ur family? Take care,

Eva ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

Dear Kayoko, I am living in Roxas City, Capiz, Visays Region. We were hit badly too. Many of my neighbors lost their houses. However, I have not been home since the typhoon happened. I had to work and scheduled some time to have a 24 duty in the kitchen helping the food preparation. This Friday again we will have a 24 hour duty again.

Hopefully we will all manage to rebuild our nation back again. Many foreign aids are helping us already especially Japan. However, they focus in Tacloban City which was the most damaged. Thank you for your thoughtfulness, Eva

要旨　(池田)

・この方は病の身をおして 24 時間体制で支援活動をなさっている。

・タクロバンは最大の被害のあった場所ではあるが、海外からの支援もそこにばかり注目されている。

ということだったでしょうか

2013 台風 30 号関連　④

「報告書を作りました。」

（10.15 地震の支援依頼者でもあるボランティア B 様より

13/11/23　12:23 着）

愛知県 OB 会

池田直樹　様

こんにちは。

いつもお世話になっております。

昨日までパナイ島北部のアクラン州に入り、被災・支援状況の調査をしてまいりましたので、報告書をお送りさせていただきます。

「支援を十分に受けていない被災地」における支援の動向の情報としてご活用いただけますと幸いです。

関心のあるご関係者の方々にも共有していただければと思います。

調査を実施して状況は少しクリアになったものの、今後どういった支援をしていくかは未定です(現在報告書は JICA、大使館、関係 NGO に配信しています)。

調査を実施したアクラン州だけでも甚大な被害が出ており、より被害の大きい州を含めフィリピン全土となると途方もない気がしてしまいます。

そのような点を含め、今後どのように被災地に関わっていくのか、話し合う材料にさせていただければと思います。

引き続きご支援、ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

2014（平成 26）年

農業における気候変動対策の事例

「Climate Smart Agriculture」

（14/2/4　11:07 着）

愛知県 OB 会

池田直樹　様

（前略）

いつも貴重な情報共有やフィリピン地震や台風に関しましてご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、表記に関しまして、以下のご質問につきまして私の知りうる範囲ですが情報共有させていただければと思います。

・ Climate change adaptation（気候変動の適応対策）のケーススタディ、JICA の活動＋他の機関とのコラボ活動（あれば）

2013 年 11 月８日の台風 30 号では、農作物の大部分が被害を受け、農家が生計を失ってしまうことになりました。

私の職務は農家の支援だったため、フィリピンの農業における気候変動対策について調べていたところ、「Climate Smart Agriculture」という取り組みがあることが分かりました。

この取り組みはマニラ市の San Beda Collage の経済学の講師よって推し進められており、現在フィリピン全国 11 箇所で実施されています。

活動では以下の 3 つが柱になっているようです。

第一に、「フルタイムで働くこと」であり、農家の所得源を増やすことで、来る災害に備えようとするものです(例えばコメが気候変動による被害を受けても豚が残っているなど)。

また農家が生活や仕事を自己管理するように行動変容させることも目指しているそうです。

第二に、「価格安定化」であり、農家が災害時だけでなく平時も設備投資、収穫の時期を見極めることによって、所得を最大化できるように指導するものです。一方では、仲買人(トレーダー)に買い叩かれないように農家をエンパワーメントしていくことも含まれています。

第三に、「食糧自給」であり地域で食べるものは地域で生産するというシステムを作ることで、災害後もできるだけ外部からの供給がなくなるなどの影響が出ないようにするものです。

この取り組みはまだ始まったばかりですが、すこしずつ成果を生み出してきているようです。

以上、限られた情報ではございますが、すこしでも何かのお役に立てれば幸いです。

それでは、二本松訓練所セミナーへはお気をつけて行かれてください。

またアップデートなど楽しみにお待ち申し上げております。

2013 台風 30 号関連　⑤
「被災地復興支援の報告書を作成いたしました」

（フィリピン派遣ボランティア　勝村智樹様より

14/3/26　10:04 着）

池田直樹様

おはようございます。青年海外協力隊フィリピン派遣の勝村智樹です。いつもお世話になっております。

おかげさまで、無事にフィリピンの被災地支援を一段落させることができました。

以下のページで報告書をアップロードしましたので、よろしければご覧いただければと思います。

http://phl.seesaa.net/article/392597404.html

なお、報告書では愛知県 OB 会様のメーリスで募金の告知をしていただいたことを記載させていただいております。

この度は、私個人での活動であるにも関わらず多大なるご協力を頂き、誠にありがとうございました。

勝村智樹

台風ハイエン被害に対する支援活動を精力的に行っていらっしゃる勝村さんは、隊員活動の合間を縫ってきちんとした報告書を作成されました。

この報告書では、被災の様子、住民のニーズ、支援の初期の方策などがよく分かり、勉強になると思います。

また報告書によると、勝村さんが支援なさっている被災地の住民の皆さんの生活の復旧・復興は、この段階ではまだまだこれから、というところでした。

ただ、勝村さんがご尽力なさっていることで、住民の皆さんは随分心強く思っていらっしゃると思います。

（池田）

2013 台風 30 号関連　⑥
「気候変動の『適応策』を整備していきます。」
「台風 30 号と気候変動との関係の研究は……？」

（フィリピン派遣ボランティア　勝村智樹様より

14/3/27　10:14 着）

池田様

お忙しい中大変心温まるお言葉をいただき、ありがとうございます。

やるしかないという気持ちで必死で取り組んで参りましたが、無事に一段落させることができてほっとしております。

また ML やブログでご紹介頂けるとのこと、ありがとうございます。

確かに台風がなければということもありますが、個人的なことですが今回の台風により途上国での自然災害、気候変動問題により大きな関心を持つことになりました。

池田様からのご指摘にありますように、現在配属先での新しい仕事として「適応策」の整備に取り組んでおります。

具体的には、フィリピンの「作物保険」をより効果的に実施できるような提言をすべく、現在調査を実施しております。

以下、フィリピン作物保険公社の URL です。

http://pcic.gov.ph/

IPCC 総会のイベントにもご出席されたとのこと、大変興味深いです。

また、ハイエン（※池田注：「台風 30 号」のこと）と気候変動の関係につきまして、私も以前気になって調べたのですが、以前は「直接的な関係があるかはわからない」、という記載だったと記憶しております。

もしよろしければ、ご指摘の気候変動とハイエンが関係しているという研究につきまして教えていただくことは可能でしょうか。

年度末のお忙しいところ大変恐縮ですが、お時間のございます時にお返事頂けますと幸いです。

引き続きよろしくお願いいたします。

勝村智樹

この台風さえなければ、ご報告者の勝村さんはもっと違った計画で地域の持続可能な発展に寄与するご予定だったのかもしれません。その一環として台風にも負けない地域づくりを、今回の台風襲来の事前に成し遂げていらっしゃったかもしれません。

被災してからの支援は当然大切なのですが、災害が起きる前のいわゆる「気候変動の『適応策』」を、やはり今後はどの途上国支援でも大いに考慮しなければならないのではないか、とあらためて思わされます。今回小生からの質問に対して、勝村さんがその点に触れて下さいました。

なお、**今回の台風 30 号と気候変動との関係について、2014 年 3 月 24 日、WMO(＝世界気象機関)は「人為的な温暖化さえ起きていなければ、今回のハイエンはなかった可能性が高い」と発表しました。**　⇒

http://www.afpbb.com/articles/-/3011014?ctm_campaign=topstory

（池田）

2014 台風 9 号関連　①
～ 安否確認の連絡 ～

2014 年台風 9 号が、またもフィリピンを襲来、被害を及ぼしました。

国連人道問題調整事務所（OCHA)の「リリーフウェブ」は、台風 9 号によるフィリピンでの被害について、

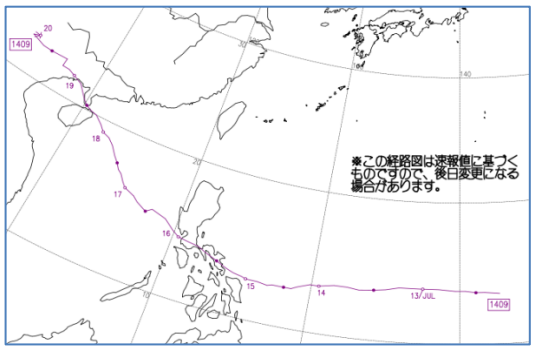
・死者 20 人　　・避難者 43 万人

・影響を受けた人 50 万人

と伝えました（⇒参照 ：「OHCA」サイト http://reliefweb.int/disaster/tc-2014-000092-phl ）。

この台風は**7 月 15 日にルソン島に上陸**する頃最盛期を迎え、中心気圧は 945hPa に達しました。（⇒参照 ：「デジタル台風」サイト http://agora.ex.nii.ac.jp/digital-typhoon/summary/wnp/s/201409.html.ja ）

その後南シナ海に抜け、940hPa にまで再発達して**中国南部**に再上陸、大きな被害をもたらしました。



【台風 9 号 経路図 （気象庁 HP より)】

（ボランティア A 様より　14/7/17　15:30 着）

池田様

毎度お騒がせしております。フィリピン派遣の A です。いつもご心配頂きありがとうございます。

フィリピン隊員と全員と連絡がついているかは定かではありませんが、台風が直撃し大きな被害が出ているビコール(Bicol)地方 **（※池田注：下に補足あり）**の隊員の安否は確認されているようです。

また新たな情報が入りましたらご報告させていただきます。

今年も台風の季節になり、これからますます大きな被害がでるかもしれません。

昨年の災害の被災地も心配です。

お忙しい日々をお過ごしかと存じますが、引き続き関心を持って頂けますと幸いです。

「ビコール(Bicol)」という地名は、BBC サイトの記事の中にも出てきます。

また、被災した地域の写真も、このサイトで見ることができます。

URL： http://www.bbc.com/news/world-asia-28339889

2014 台風 9 号関連 ②
「安否確認中」
「首都では貧困層を中心に停電」

（ボランティア A 様より　14/7/18　18:19 着）

池田様

私も現在ビコール地方の隊員に被害の程度を確認しているところです。

輪番停電は首都マニラの一部でも続いているようで、特に貧困層が住んでいる地域の電気がとめられる傾向にあるという噂です。

いろいろな媒体で情報を共有していただきありがとうございます。

2014 台風９号関連　③
＆気候変動全般の影響
～心配でひやひやの“貧困層”の生活環境～

（ボランティア B 様より　14/7/18　22:32 着）

（**太字**、赤字は池田による）

池田様

こんばんは。フィリピン派遣の B です。

NTC(**※注 1:二本松訓練所**)では講座に参加させて頂き、お世話になりました。

テーマに沿って提供できる情報があまりないと躊躇しており、メールをするのがこのタイミングとなってしまいましたこと、まずはお詫びいたします。

ただ他のフィリピン隊員からの情報も多いようなので、何か追加で参考になればと思い、メールいたしました。

何かの役に立つようであれば、必要に応じて抜粋していただければ幸いです。

私はパナイ島のイロイロ市という所に赴任しています。川と海に囲まれた地方都市です。

「気候変動」ということで同僚から聞いた話は、

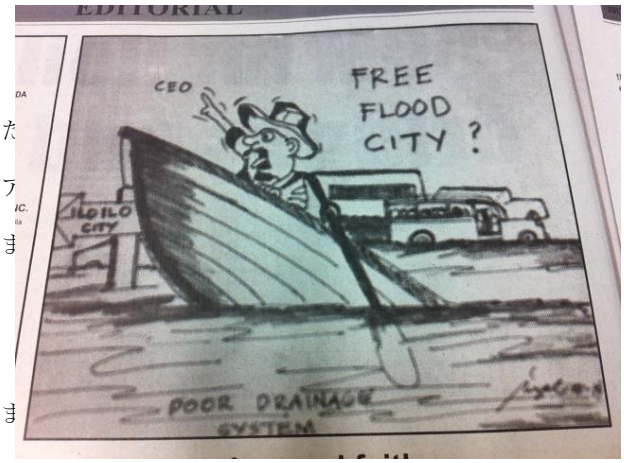
「昨年はフィリピンで涼しいはずの 12 月が暑く、暑いはずの時期（たしか 3 月と言ってたかと思います）は寒くて驚いた。最近は気候が読めない」

と言っていました。

以前はフィリピンは「台風が発生する地域」だったのに、今は**「台風が育つ地域」**になっており、近年災害続きとなっているとか。

フィリピンでも**環境破壊、異常気象に気づいている**のか、植樹のイベントがよく行われています。

私の住んでいる都市では、普段の雨だけでも道路の水はけが悪く、添付のような**風刺画**が州の新聞に出るほどです（**写真下**）。



先日の**台風8号（※注 2:7 月 10 日に日本に上陸した台風）**では、市内北部のある地域では道路は膝丈ほどの高さまで水がたまり、実際に家の中まで浸水した友人もいました。**（写真下 ： 雨が降っていない状態の川）**（台風 9 号は私のいる地域はそれたので、大きな被害はありませんでした）

政府に勤めるような比較的恵まれた層でも、気候の影響を大きく受けます。

貧困層はというと、**海外や川岸**に**竹や廃材**などで作った**簡素な家**を建てて暮らす人達もいます。**（ 写真下 ： 奥の家々は不法住居 ）**

都市部の海や川は**ゴミ**もあふれ、決してきれいではありません**（ 写真左 ： ゴミの多い都市部の海 ）**。

高潮・洪水で危険なので禁止されていますが、経済的理由から**不法居住者**となっています。

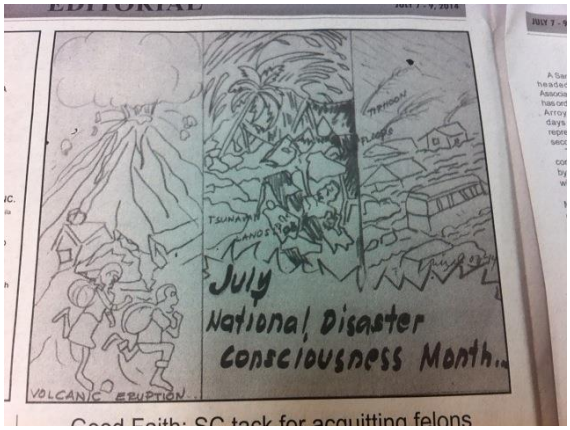
普段の雨でも大丈夫かと見ていて**ひやひや**するのに、もっと**大きな台風が直撃したらと心配**です**（ 写真右上 ： 左奥の家々は不法住居 ）**。

私は州政府の社会福祉開発事務所に勤めているのですが、**台風ヨランダ（※注 3 ： 昨年大災害を引き起こした台風 30 号のフィリピン名。英名はハイエン）の被災者への経済支援**は今も続いています。

これ以上、大きな災害が起きないことを祈り、自分にできることは何かと考える日々です。

日本も台風のシーズンですので、どうぞお気を付けください。

（ 写真左 ： 防災月間イラスト）



P.S.

文面の内容を訴えかける分かりやすい写真がなく恐縮ですが、参考までにいくつか添付いたします。

今回のセミナーには間に合わないかもしれませんが、ご参照いただければ幸いです。

タイ

2010（平成 22）年

「温暖化の影響と原因にも貧富の差を実感」／ 地方小学校の温暖化教育

（10/5/4　着）

こんにちは。

参考になるかわかりませんが、私が個人的に見た限りの情報ですが、連絡させていただきます。

タイと一言に言っても、タイ国内はご存知のとおり日本よりも広い国ですので、一言でタイとくくるわけにはいきませんが、まず、首都バンコクは交通量がものすごく多く、排気ガスは当たり前、ディーゼルもまだ残っていますので、黒い煙が舞うこともあります。また、タイの天候は現在の4，5月が一番暑い季節です。

外の気温とは真反対に、大きなビルなどは、凍えそうな程冷房が利いています。やはり、温暖化の影響と原因にも貧富の差が関係しているのだと感じています。

そして、私の任地東北地方のコンケン県ですが、市内には大型スーパーもありますが、市内の小学校に行ったところ、廊下に面した窓に温暖化を示す絵や解説が貼ってありました。小学生にも温暖化について教えているそうです。

また、私の任地である科学センターでは、温暖化についてのパンフレットやその影響などを展示、また、子供たちへの教育活動（サイエンスキャンプなど）の中でも、温暖化について教えています。

まだこれくらいしかわかりませんが、また新たな情報があれば、連絡させていただきます。

それでは、22－1の皆様によろしくお伝えくださいませ。

力を入れているタイの環境教育

（続報　10/5/8　着）

タイでは、特に環境教育には力を入れているようすです。

高校生くらいになると、たいていは温暖化についてなどある程度の知識はあるのではないかと聞いたこともあります。

しかし、これは確信ではないので、また詳しいことがわかり次第、ご連絡いたします

大干ばつ⇒米の生産大幅減

（10/7/6　着）

10/6/10 付　ラオスの新聞記事要約･抜粋(by 池田)

世界最大の米輸出国のタイで最近 20 年で最悪の干ばつ

稲作の次期収穫大損失と水危機に直面

･降るべきときに降らなかった　(by タイ気象局)

･8 月で終わる次期の作物サイクルにおける米の収穫量を下方修正。

500 万トンという前回の見通しから 200 万トンに。

(by タイ精米協会談)

･例年雨季には 3～4 回の季節風の嵐があるが、今年は 1 回になりそうで農民には有難いだろう

･通常タイの米の年間生産量は　2000　万トン。うち輸出が 900　万トン、900　万トンが国内消費。10%は価格維持のため政府が備蓄している。

⇒　食糧不足にはならないだろう

・しかし貯水量が回復せず水需要が増加し続ければ水危機に直面するであろう。

（国内の水の消費量は、農業部門で 70%、人が直接消費する量は 4%）

（以上 by 王立灌漑局）

Drought threatens Thailand's rice crop

BANGKOK (AP) — The world's largest rice exporter, Thailand, is facing major losses to its next crop of rice and a water crisis because of the worst drought in nearly two decades.

Chanchai Rakthananon, president of the Thai Rice Mills Association, said Tuesday that rice output for the next crop cycle, ending in August, could fall to as little as 2 million tonnes from a previously forecast 5 million tonnes.

"It didn't rain when it needed to rain," said Angsumal Sunalai, director general of the Thai Meteorological Department. He blamed global climate change for the problem.

Chalit Damroengsak, director general of the Royal Irrigation Department, said there would normally be three to four monsoon storms a year during the annual rainy season, "but farmers will be lucky if there is one this year".

Thailand produces about 20 million tonnes of rice annually in two to four crop cycles, exporting about 9 million metric tonnes and consuming the same amount.

The government keeps a rice reserve of about 10 percent of output, mostly as a way of stabilising prices, so the drought won't cause food shortages. However, Thailand will face a water crisis if reserves are not refilled and demand for water continues to soar, said Chalit, who explained that the agricultural sector consumes 70 percent of the nation's water supply, while human consumption accounts for only 4 percent.

Glutinous rice is harvested near Phrae, Thailand. --AP Photo

読めない気候や気象
⇒山岳地域の住民生活を直撃

（10/8/9　着）

お久しぶりです。

以前タイでの温暖化教育について少しだけご連絡をさせて頂きました。

私の任地はイサーン（東北）地域のコンケン県という所ですが、最近は雨季という事もあり、バケツを返したような雨が降ります。一見かなり都会に見えるコンケンの中心地も、先日は下水もあふれ、道路が海のように波打っていました。インフラの整備が完全では無いのだと思います。

そんな雨が降るにもかかわらず、以前イサーン地域は雨不足で、未だに水の入っていない田んぼも多く見られます。

前置きが長くなりましたが、今回は、北部にあたるターク県のミャンマーとの国境にあるカレン族メラ難民キャンプで聞いた情報です。

山岳地帯にあり、緑が深々としていて、絶景の中にある難民キャンプですが、近年、異常気象がよくあるとの事でした。雨季の時期のずれや、寒い季節にとても暑い日が続くなど。

気象のずれは、農業はもちろん、生活にも影響しているようでした。

カレン族の人のように、山の中で暮らす人々にとっては、気象の変化は直接生活に繋がり、また、そのような環境の変化は、インフラ設備の整っていない場所で暮らす人々に早々に影響し、悪循環の輪に入る人々を増やしているのではないかと思いました。

はっきりとした数字のある状況でなくすみません。

しかし、やはり、ある程度の街に住んでいるのと、自然の中で暮らしているのでは、温暖化の原因を出すのも、影響を受けるのも、こんなに差があるのかと感じたので、ご連絡させて頂きました。

温暖化の影響を作っている人々には、温暖化の影響が届くのは遅く、自然の中で、自然に従い生きる人々に大きく影響する。

先進国と途上国のような関係が、環境でも存在しているのだと感じました。

それでは、ご報告まで。

日本は夏ですね。

タイにいると季節感がありません。笑

お身体大切に、ご活動ください。

大洪水(1)
被災者数は 100 万人規模
～JOCV も被災(家屋浸水)～

（10/11/6　着）

池田さま

こんにちは、お久しぶりです。お世話になっております。

1、2週間程前タイのニュースでは洪水の情報ばかりが流れていました。全国的にも大きな範囲で洪水被害が広がっています。

私のいる東北地方でも、東北の入り口と言われるコラートという大きな県が大きな洪水被害に遭い、**JOCV の家も浸水してしまったそうです**。（※注　**青字**による強調は池田）

私の街では大きな被害はありませんでしたが、川の水があがり、河川付近に住む人々は、2 晩程道路で寝るという生活を送っていました。

タイの友人の話に寄れば、ここまで大きな範囲での洪水被害はここ最近殆どなかったそうです。

また、今年は例年よりも寒いとの話もあります。確かな情報かはわかりませんが、話に寄れば、水が増えて気温が下がっていると聞きました。

タイの人々は、洪水になっても、家の前で泳いでみたり、街の中で魚をとってみたり、臨機応変に様々な対応をしています。

しかし、家や家具や、さまざまな物に被害がでいるのも確かで、また、命に危険があるのも確かです。現在では、洪水後の
感染症への警戒が出ています。

温暖化と洪水がどのように関係してくるかわかりませんが、タイの人たちも確かに環境に変化が生じている事は、感じています。

以上参考になるかわかりませんが、タイより報告でした。具体的な数字が無くてすみません。

日本での活動、ご活躍、お身体を大切に頑張って下さい。

大洪水(2)　（続報）
～JOCV の家屋浸水被害の様子～

（10/11/7　着）

お返事どうもありがとうございます。

日本も奄美大島の洪水のニュースで持ち切りだたんですね。私はインターネットで少し見れるくらいでした。

タイでは現在でも洪水被害が出ており、昨日のニュースでは、アユタヤ、パトゥンタニ、チョンブリなど、首都バンコク付近の県に被害が出ているそうです。

ニュース内の映像では、救援物資などが赤十字などから配布される様子が映し出されています。

JOCV の家は 2 階建ての 1 階部分に水が入ってしまったり、通勤時に水の中を歩いて行くなどだそうです。

先日いらした新隊員さん 2 名の任地もちょうど洪水被害が大きい県で、派遣が心配されていましたが、無事派遣されたそうです。(後略)

温暖化に関する教育・啓発活動および調査活動

（10/11/7　着）

（前　略）

私の配属先の科学センターでは、地球温暖化についても子どもたちに教えています。

来週からも出張で先生方が教えに行くそうです。

また、タイの本土ではほぼ地震はありませんが、近隣のインドネシアの地震による津波の被害が 4 年前（でしたか、、）に大きく報道されたと思います。

科学センターで行われるサイエンスキャンプ内では、様々な科学教育に並んで、環境問題、とくに温暖化や、津波なども教える試みを行っています。

津波に洪水と、タイでは水の被害が多いのだと感じます。

しかし、それに並んで水不足とも言われています。

自然と隣合わせに生き、しかし現代文明のさまざまな機械なども取り入れ生活を送るタイの方々は、協力隊のイメージからすると、援助する相手では無いのかもしれませんが、私個人の目から見ると、とても魅力的な、そして、未来の地球を作って行く大きな可能性を持った人たちだなと感じています。

タイの人々には、自分たちで解決する力もアイディアも十分にあると思います。しかし、温暖化の影響のような、国単位でどうすることも出来ない事は、日本、タイ、また様々な国が情報共有し、アイディアを共有し、上下の関係を作るのではなく、横のつながりで、共に考え、行動して行けたらいいなと思いました。

2011（平成 23）年

異常低温、雨季のずれ

（11/2/15　着）

こんにちは、お世話になっております。

温暖化と関係があるのかはわかりませんが、タイ全体だと思いますが、特に私の住む東北地域の人々の感想です。

この冬（12月～2月上旬）は例年になく寒いとの事です。

私自身も、タイは暑いだろう！と、完全に防寒着は少し厚手のパーカー一枚を日本から持って行きましたが、今では日本でも切るような冬用ジャケットが 3、4 着に増えました。温度的には日本にくらべたら寒くは無いのかもしれませんが、体感温度はかなり寒く感じます。

それなのに冷房をつける現地の人も不思議ですが。。

バスなどは、窓が開かないため、冷房（エアコン）を止めると息が出来ない（息苦しい）、でもつけると寒い！と乗客の声が飛び交っています。排気ガスもすごいので、まともに窓を開けられる状態でもありませんが。。

以前の洪水もあったことですので、気候変動の影響があるのは確実だと思います。

また、以前訪問した北部（中北部）のミャンマーカレン族の難民キャンプでは、雨季の時期がずれてきていると聞いた事もあります。自然が多い場所ではより明らかに気候変動の影響が人々の生活にも影響しているようです。

参考になるかわかりませんが、以上報告まで。。

日本は寒い日が続いていることでしょう。

どうぞお身体ご自愛ください、またボランティアのみなさまにもよろしくお伝えくださいませ。

一番暑い季節に低温、雨季でもないのに大雨・洪水（＋地震）

（11/5/9　着）

お世話になっております、タイからです。温暖化と直接の関わりがあるかはわかりませんが、環境、自然に関しての情報です。

以前、タイは今までにない寒波だというメールをしたと思います。通常であれば、3月　4　月はタイでは真夏、一番暑い季節です。もちろん今現在も暑いのですが、まだ雨季でないのに、大雨が非常に多いです。

タイの友人によれば、今までの竜巻やなんかの方向がちがうとか…（曖昧ですみません）

現在も、雨季のような大雨がざーっと降る日が多いです。

そして、地球全体でのプレートが動いているのか、タイでも地震が起きています。

ミャンマーやタイ北部は地震、そして南部は洪水です。

タイ政府も、南部の洪水に対する緊急支援に予算をまわし、私の配属先も政府の管轄なので、予定していた年間予算がまわってこなくなりました。それくらい、南部の洪水の状況は深刻なのかもしれません。

私は直接見に行ける距離におりませんが、映像で見る限り家がほぼ浸水してしまっていました。（屋根が水の上に出ているだけの状況）

タイは、日本の震災にも本当に親身に様々な支援をしてくれています。　大きなお金も動いていますし、テレビやニュースでは伝わらないところで、本当にたくさんの人々が、心配し、祈りを捧げ、日本を想って下さっています。

きっと、私たちしか、それを知る事ができないと思うので、時間がかかっても、いつか日本の皆様に、タイの人々の想いを伝える事ができたらと思います。

現在活動先では、エコバックが販売されるようになりました。

しかし、このビニール大国タイでのエコバックは本来の意味で使われる事は今の所少なそうですが、人々の意識の中には、ビニールの無駄遣いが温暖化に良く無いという観念はあるようで、ペットボトルを購入し袋をもらわなかった時、「ほら、温暖化してるからね」とさらっと言ったりします。

そして、今後温暖化の授業の際に、私のプロジェクトであるゴミの事も一緒に加えて出来そうという事で、温暖化にも、様々な原因があり、タイの人たちと、自分たちが自分たちの生活の中で、どのようなことが出来るのかを一緒に考えて行きたいと思っています。

私はゴミ分別の視点が多くなりますが、危険ゴミを分別しないなど、一部で大地や空気、地球を傷つけ、一部では植林をしたり、まるで絆創膏を貼るかのように行動しているのを客観的に見ながら、もっと核心部を知り、自分のどんな行動も小さな事でも繋がっていて、そこに影響してくるということを意識できればと思っています。

すみません、長くなりましたが、今回このような状況下で派遣前訓練なさっている皆様に、よろしくお伝え下さいませ。きっとその方々の行かれる場所で、その方にしか出来ない出会い、活動が待っている事と思います。

最後になりましたが、いつも情報発信どうもありがとうございます。お身体大切になさってくださいね。

≪≪≪≪ 2011 タイ大洪水 関連 ≫≫≫≫

1．北部で洪水 （10月3日 報）

（21-4 青少年活動 飯塚紗彩さんより

11/10/3 着）

池田さま、メーリングリストのみなさま

こんにちは、タイ21－4の飯塚と申します。

本日私の任地東北のコンケン県も台風の影響で大雨に見舞われております。

配属先の人たちは、「なんで休みにしないんだ！！」と怒っています。笑

先週大きな台風[1]が接近し、2県で大規模な洪水が起きました。

とくにロブリ県（アユタヤ付近）では大きな被害が出ています。

台風以外でも南部、北部で洪水が発生。有名な都市チェンマイでも市内が浸水というニュースを見ました。

私の任地でも今日の雨で、川沿いに住む人たちは、みんな道路で寝泊まりする事になります。気温も下がっているので、気の毒です。

タイでは急速な社会の変化（伝統的な社会から消費社会へ）に様々な対応が追いついていないのも現状です。例えば、排水関係や、ゴミ処理など。

そのため、都市部でも大雨が降ると一気に街が浸水します。高層ビルや高級住宅地での浸水の光景はなんだか少し不思議に感じます。

タイはバイク、車社会なので、渋滞や事故に繋がり危険も生じます。

また心配なのはゴミの埋め立て地です。

ゴミを積んである山に大雨が降ると、ダイオキシンなどを含む汚水が流れる、または土に染み出ていくでしょう。また、フィリピンパヤタスゴミ捨て場で起きた事故のように、土砂崩れが起き、周辺に住んでいる人がゴミに埋まって亡くなってしまう、悲惨な事故も起きかねません。

しかし、システムだけの問題ではなく、気候変動も確かに感じられると現地の人の声も聞いた事があります。

今までは雨季、乾期、などとはっきりした気候であったが、現在は雨季があけても雨が降るなど、多少のずれがあるようです。

とくに、伝統的な暮らしをしている人たちには、街で暮らす私たちに比べてはるかに大きな気候変動が生活に影響をもたらしています。

都市で電気を沢山使い、気候変動の影響を受けづらい私たちと、自然の中で、自然の物を使い最小のエネルギーで生きているのに、もろに気候変動の影響を受けている人。その図が目に見えてわかる気がします。

世界で起きる自然災害のニュースを聞くと、本来自然から生まれ、自然の恵みを頂いて生きられる私たちは、自分たち人間に都合の良いことばかりでなく、自然の中で生きている意識を取り戻す必要があると強く感じつつ、電気など人間が生み出した物の恩恵にあやかっているので、強くは言えません。まずは、自分の行動から見直して行かなければならないと痛感します。

中進国になるとは言っても、私の住んでいた東京にくらべ、まだまだ自然と近いところで生活しているタイの人々から、実行に移すヒントを学ぶ日々に感謝しております。

長くなってしまいました。すみません。

この度は、タイのことにご関心を持って頂き、またご心配頂き、どうもありがとうございました。

タイ人ではないですが、タイに住んでいる者として、とても嬉しく感じました。

ありがとうございます。

[1] 2011年 17号・19号台風

池田様もお身体ご自愛くださいませ。

また、メーリングリストの皆様も世界でご活躍されていると存じます。安全にご活動頂けることを願っております。よろしくお伝えください。

21-4　タイ　青少年活動　飯塚紗彩

池田様

2．ダムより放水　（10月5日 報）

（21-4　青少年活動　飯塚紗彩さんより　11/10/5 着）

池田様

お世話になっております。

先日はタイの情報をメール配信してくださりどうもありがとうございます。

追加で本日入りました情報があるので、メールさせて頂きました。

現在タイ全土で、ダムの水を外に出しているという話を聞きました。もちろん水を全部出すのではないのですが、台風が来て雨量が多く、ダムの水が溢れるため、扉を開けていると言った表現でした。

そのため、私の任地東北地方も、近隣の県、ロイエットは自県の水と、私の任地の県コンケンの水が流れ、現在ほぼ浸水しているそうです。

また台風も現在ナコンパノム県に滞在、また新しいものが現在ベトナムに居て、再び大雨の予想が出ています。

現在でも洪水状態ですので、またさらに台風が接近すると危険なことが多々予想されます。

先ほどCPにも、寝るときは気をつけろと念を押されました。

私の配属先も本日大浸水。オフィスはまったく問題ありませんが、池の水が溢れ、入り口の大きな扉付近はバイクでは通れないほどの浸水です。お陰で池の魚が流れ出て、本日配属先の人は魚とりに夢中です。

私もあやかり、本日のお昼は魚三昧。

浸水した場所で車を洗う人も居れば、心配半分でも自然を受け入れているタイ人、やっぱり素敵だと感じています。

職場の何名かの家も浸水したと聞き、現在も横で友人が、「今までこんなことは殆ど無かったのに。」と言っています。

ダムの水を出す事は異例だそうです。

なので、追記としてメールを送らせて頂きました。

また台風が現在は**ベトナム**に、**フィリピン**でも多くの被害が出ていると聞いています。また**カンボジア**からは、実家（バッタンバン）が洪水だという現地の友人からの連絡がありました。

各地で被害が拡大していますので、多くの人の安全を強く願います。

それでは、池田様もお体ご自愛くださいませ。

21-4　タイ　青少年活動　飯塚紗彩

3．バンコクに洪水の予測。新規ボランティアには５日間の食糧準備をするよう助言（10月８日 報）

（23-2　作業療法士　楠森篤さんより　11/10/8 着）

23－2楠森です。

タイに来てずっと洪水被害がでているニュースが放送されています。民家の1階部分が完全に浸水している映像や、も

う少しで寺院の塀を乗り越えそうな川の水位の状況や、たくさんの人が土のうを積んでいる姿などです。

タイの洪水は津波のように突発的ではなく、チャオプラヤ川沿いの町を徐々に飲み込んでいくような水害のようです。

他の隊員は毎年水害のニュースはあるとも話していますが、本日、タイの警察官の方に話していただいた内容としては、10／12頃にはバンコク市内（王宮やワット・ポーもチャオプラヤ川沿いにある）が13年ぶりに水害に見舞われると予測しているそうです。また、派遣先の県（コンケンやサラブリー）は派遣先の学校などが実際に浸水しているそうです。ただ、現在タイの学校は長期休みに入っているので、就学には大きな影響は今のところないそうですが、派遣先の状況は気になるところです。

そのため、私たちに助言として5日間ほどの食料を準備しておくようにと話されていました。まだ、タイに来て間もないのであまり正確な情報ではないかもしれませんが参考までに報告しておきます。

4. タイ大洪水が及ぼす生活への影響 ～原因の一つは森林伐採か～ （11月5日 報）

（11/11/5 着）

愛知県 OB 会

池田直樹様

（……前略……）

私たちの滞在地域（バンコク中心部にほど近い）にはまだ直接的被害がなかったのですが、周辺住居や病院等施設では土嚢を積む作業が行われ、パンや水などの保存可能な食糧は減りつつありました。

まだそれほど水害がバンコクに迫っておらず、隊員の移動などへの厳重な注意喚起もされていない時期にチャオプラヤ川の近くに行ったのですが、その時すでに川の水位は上がっており、近くの屋台街には土嚢で作られた水の通り道ができている状況でした。また、船への桟橋も一部川に完全に浸かっている様子もありました。（写真を添付しました）

タイの方いわく、毎年のようにあちこちで洪水があるが、こんなにひどい水害は今までに経験したことがない、とのことでした。洪水は年中行事のようで、それがタイの方にとっても当たり前のようです。実際、自宅が水害にあってバンコク中心部に引っ越されたかたも、「しかたない」と、私たちの感覚からでは驚くほど落ち着いてみえました。また、語学学校からも「膝下ぐらいまでなら授業はある」とのことで、私達も冠水した中を通学するのかな、などと考えておりました。

しかし、そのように年中行事であることが対策の遅れにつながっているように感じました。

また、今回の洪水ですが、おもに政府の災害対策のミスや排水システムの遅れ、異常気象(雨量)が言われています。しかし、おそらく池田様もご存知かと思いますが、森林伐採による保水能力の低下も原因としてあげられているようです。

タイでは森林伐採による保水能力についてはあまり聞かれません(それどころではない、という感じもありましたが・・・)。最近そのことを知り、なるほどなと思いました。

直接的な被害がありませんでしたので、報告できることはこのぐらいではあります。

JICA 職員宅が浸水などの被害にあわれましたが、水がひいたあとも感染症などの問題が増加することと思われます。

(……後略……)

5. 写真で伝えられない深刻な被災者多数 / 被災者のために動くタイ国民 / 任国に対するJICAボランティアの思い / 隣国カンボジアの洪水も深刻か?!

(11/11/6 着)

この度ご心配をして下さった池田様をはじめ各地のみなさまどうもありがとうございます。

タイの洪水状況を簡単にですがお知らせさせて頂きます。

まず、自身の任地は洪水被害はあまりひどく無く、生活も至って通常に流れております。

強いて言うと、コンビニ、スーパーなどの商品が支援物資として被災地に送られているため、日用品が減っているというくらいでしょう。

ニュースなどでも多く取り上げられるバンコクは、現在深刻な状況です。

北、東北と繋がるバスターミナルも本日冠水と聞きました。

また南部への幹線道路も寸断される可能性があります。

バンコク近隣県はほぼ浸水しており、一日に2キロくらいのペースで都内中心部に水が向かってきているそうです。水のスピードは速くありませんが、排水溝など下から水がまわり、マンホールなどから一気に吹き上げるというケースもあるそうで、油断を許さない状況だと思います。

しかしタイの人はたくましい。

自然の驚異もすべて覚悟しているのでしょうか。

知り合いの方からのお話では、すぐそこ500mあたりまで洪水の浸水が迫ってきている場所でも、いつもとかわらず屋台がだされ、人々の生活を繋いでいるとのことでした。

日本震災の時、政府、市民一丸となって日本を想い、行動

してくれたタイの人たちの大きな力は、現在自国民のために、多くの人が、募金、ボランティアと行動にかえ、支え合っています。

JICA ボランティアである私たちは、身の安全の元、様々な制限が出されています。

困惑する部分もありますが、JICAも様々な対応に追われているのだと思います。

そんな中隊員は、日本震災の際に市民一丸となって行動してくれたタイの人たちに申し訳ない気持ちと、早く洪水がおさまってくれる事を祈る気持ちでいっぱいです。

しかし、本当に大変なのは、身の安全が守られている私たち、いざとなったら帰る場所のある私たちではなく、ニュースに写らないところで、支援物資もすくなく、日々不安な生活を強いられている現地の人たち、そして、飲み水などが店内から消え不安な中必死に手助けをしている現地の人たちです。

ニュースに写るのは一部で、また首都バンコクの話題で持ちきりです。

しかし他でもたくさんの場所で、もう既に 2 ヶ月以上、水に浸り、避難所となっている寺や学校の 2 階などで生活している人がたくさんいます。

今後の不安は、感染症などを含め、水も腐り、様々な危険が重なってきます。

タイでは低地にゴミ集積場が作られているため、集積場からゴミが流れ出すケースもあるのではないかと NGO の方とお話をした時に心配されていました。

現在もEMボールの投入などを試みていますが、洪水範囲があまりに広いだけに、どの程度防げるのかはわかりません。

また洪水が引いたあとも、使用できない家もたくさんあるでしょうし、不便な生活を強いられる人は数え切れないと思います。

また、日本の震災でもあったと思いますが、被災地での心のケアの問題もあり、心配しております。

様々な制限の中で行動に移せる事は限られるかもしれませんが、大好きなタイのこの困難を一緒に乗り越えたいという気持ちです。

また、非常に情報が入りにくいですが、隣国カンボジアの洪水被害も深刻のようです。

カンボジアにいる友人からは実家が被害を受けており、また被災地では米が足りないなどとの情報を耳にしています。こちらも非常に心配です。

以上、具体的な内容でなくすみませんが、タイよりご報告させて頂きます。

また、自然災害はいつどこで起こるかわかりません。

どうぞみなさまご自身、そして大切な方々ともに大切にして頂ければと思います。

6. 少しは落ち着いたが国内では様々な洪水地域が報道／「真っ先に被害を受けるのが貧困層」の現実を見て（11 月 22 日 報）

（21-4 青少年活動 飯塚紗彩さんより 11/11/22 着）

池田様

メーリングリストの皆様

訓練所の皆様

こんにちは、お世話になっております、タイ派遣、飯塚です。

池田様、この度は、タイの洪水に対してのご心配と、情報発信など、親身に対応してくださり、本当にありがとうございます。

日本ではタイの洪水のニュースは報道されなくなりました

か？

こちら、タイでは、以前よりは少し落ち着きましたが、TV には毎日様々な洪水地域が映し出されます。

タイ事態の危険状況は大使館のレベルでも引き下げられ、ボランティアも再赴任が決まっております。

しかし、現在も浸水地域は多々あり、浸水地域の人々の生活は過酷を極めている次第であります。

現在も私の同僚が首都バンコクへ大量の水を届けに行っていますが、行く途中も浸水しており、通常より3，4時間所要時間がかかっているそうです。

さて、今回は私の尊敬する、NGO 代表理事の方の FB のコメントをご紹介しようと思います。

NGO シャンティ国際ボランティア会の八木沢様は、タイで長くご活躍されており、スラム支援を初め多岐にわたるご活動をされています。そして、なにより、とても素敵な人柄で、私たちボランティアの声にも親身に耳を傾けてくださり、暖かくヒントを示してくださる方です。

八木沢様も、洪水発生時から、とくに支援の届きにくい地域への支援活動をされており、現在も様々な地域に足を運んでおられます。

写真とコメントなので、写真は添付させていただきますね。

①バンコクのエメラルド寺院から目と鼻の先のチャオプヤー川沿いのスラム。毎年、洪水になるが今年は最悪とのこと。スラムの住民の多くがエメラルド寺院の付近で花や花輪を売って生活。早く観光客が戻ってくれないと生活が出来ないとのこと。冠水地域とそうでない地域の差、天国と地獄です。

②バンコクの中心部に近いバーンスー運河。この運河沿いにもスラムがあり浸水。最深時は50センチまで地域が水に浸かった。バンコクにはスラムが1000カ所以上。バンコクの人口の5人に一人がスラム人口。洪水によってタイの貧富の差、格差がまた水に洗いだされた様相。この運河で、中心部への冠水が止まりました。懸命の排水と北部や他の地域の犠牲？の上での中心部への冠水阻止？

というものです。

タイのニュースも一時期は首都バンコクで持ちきりでした。

バンコク中心部への水の浸入を防ぐため、たくさんの人の力とたくさんのお金が使われました。バンコク中心部に水が入らないよう、様々な場所で排水が行われ、その影で水の中に消えた家が何軒あるでしょうか。

首都バンコク、もちろん経済の中心地であり、大きな芯である場所であるのは確かです。

そこには、ある程度の収入のある人、そして多くの外国人が住んでいます。

その地域の浸水を防ぐため、水をせき止めた川のある地域には、たくさんのタイの人が住んでいます。

人というものは、どこにいても、どんな仕事についていても、どこで生まれても、命の重さは同じではないのでしょうか。そんな疑問が生まれてきます。

とくに自然災害において、いつも先に被害を受けるのは貧困層の人々です。

このメーリングリストの主題でもある温暖化、原因を作っている人、もちろんいずれその人にも被害が及ぶでしょう。

しかし、まっさきに被害を受ける人は誰でしょうか。

電気に頼らず、自然の中で自然の恵みを知り、感謝しながら生きている人たちにまず被害がでます。

今回の洪水では、目に見えないうちに…ではなく、はっきりと目に見える形で、天国と地獄の線を引かれたような気がします。

自身は守られた環境にいながら、このようなことを言える立場でないのは分かっておりますが、このような対策に疑問を持てる感覚は忘れたくないと思います。

以上、参考になるかわかりませんが、タイより報告させていただきます。

池田様を初め、

メーリングリストに参加のみなさま、

そして訓練所の皆様、

どうぞお体大切に、ご活動下さいませ。

21－4　タイ国派遣

飯塚紗彩

7.「洪水のその後」 ～報道されていない被災者は、今…～

（21-4　青少年活動　飯塚紗彩さんより　12/2/18 着）

池田さま

こんにちは、ご無沙汰しております、タイの飯塚です。

タイでは、洪水が少し過去のものとなりかけていますが、実際に水がある所はありませんが、まだまだ洪水の傷跡はたくさん残っているところもあります。

壊すのは簡単、壊れるのは簡単、だけど、やっぱりなおすのは大変ですね。

自然災害の後の、修復期と言うのでしょうか、この時期、被災者の方は周囲からの注目が減り、しかし不便な生活を強いられ、精神的に参ってしまう時期があると聞いています。

タイの人々はそのへんたくましいようですが、でもやはりそれも視野に入れて、しっかり把握しないと、と思います。

さて、現在も洪水支援、そして支援のモニタリングを重ねている、日本の NGO シャンティ国際ボランティア会（SVA）の代表であられる八木沢様より頂いた情報です。

「昨日、バンコクからバンコク近郊のノンタブリ県、パトゥンタニー県、アユタヤー県の洪水の被災地をモニタリング、無事戻りました。11 月に一面の大海でった地域の水はどこに。水が引いた地域ではすでに田植えをして一面の緑。アユタヤーに隣接するのパトゥンタニー県の小学校を訪問する。子どもたちの 1 割りが洪水による親の失業で他の地域へ移ってしまったとのこと。

まだ、自宅待機や失業の問題等課題も山積。田畑の緑には、さすが熱帯のタイ。

洪水の時と風景が変わり過ぎて、道に迷うことしばし。タイ

では、もう今年の洪水の心配も。

来週もまた、週一でモニタリングの予定。」

このように、現在では自然災害から、直接たくさんの家庭に様々な被害（失業や、移住など）が起きていることがわかりました。

また、私の知り合いからも聞いていますが、アユタヤ県では、新たな洪水の心配が出てきています。というのも、北部で再びダム決壊を恐れ、水門を 2 カ所開いたという話を聞きました。

タイはいよいよ夏に向けての準備という季節です。

首都バンコクは大分蒸し暑くなっていました。

それに比べ任地東北は昼と夜の温度差があり、過ごしやすい気候です。

今後、様々な気象異状に続いて、どのような影響が出てくるのか、現地の人も、地球の叫びだといいながら、心配しています。

直接的な情報ではありませんが、自然災害からの展開という事で、紹介させて頂きました。

二本松訓練所は、今期は88名と聞いております。私の時期の半分ですね。

日本の災害後の派遣と言う事で、様々な心情で研修に望まれている方がたくさんいらっしゃると思います。

きっとどの派遣先でも、みなさんの来国を首を長くしてまっていると思いますので、あとすこし、風邪を引かないように頑張って下さいとお伝えください。

最後になりましたが、池田さまも、お忙しいと存じますが、寒い季節でもありますので、お身体ご自愛下さいませ。

タイ国　青少年活動　　21 年度 4 次隊　飯塚紗彩

2012（平成 24）年

8. 洪水後のタイの人々の意識や考え方 他

（21-4　青少年活動　飯塚紗彩さんより　12/2/19 着）

池田さま

（……前略……）

洪水に関しては、タイの中でも忘れられている部分もありますが、実際には終わっていないと思います。

実際の現場は、様々な物が失われたり、洪水のため人材が失われたり、それを元の形に戻すには相当な時間を要するのではないかと思われます。

きっと私たちの見えていない部分に、「孤立」「孤独」などの問題も潜んでいるのかもしれません。全体的な印象ですと、タイは「家族をとても大切にする」ことに重んじており、家族同士で助けあっている印象もあります。

また、家族がいない人にたいしても、まわりのサポートがあると思われますが、実際のところどうなっているのでしょうか。私ももっと良く見てみたいと思います。

乾期中の雨についてですが、わたしも「おや？」と思いました。乾期まっただ中に、朝起きると地面が濡れていたり、夜中うるさいほどの雨が降った日もありました。そう頻繁ではなく、数える程度でしたが、少し驚きました。

しかし、タイの人に聞いた所、大体毎年降るとの事であまり驚いてはいませんでした。が、この毎年とはここ数年の事で、やはり、もっと長い目でみた昔の環境からは変化が生じているようです。

また、タイの人も今年の環境災害（日本、タイを初め多国で起きた事から..）を受けて、「環境が悲鳴を上げている。」「環境も、自分の身体を守るために、このような活動をしているのだ」などと話しています。

また笑い話で、「あと 10 年でタイにも雪が降る」と言ってい

ますが、半分笑い、半分本気らしいです。

その中で、私が注目し、世界にも是非発信して行きたいタイの考え方が、「足るを知る経済」の哲学です。

開発、発展をしないわけではなく、いかに、環境と共に、自然エネルギーを利用し、他者、他のものを迫害するわけではなく、また、自分が極度に無理をするわけでもない、持続可能な生活を送るというプロジェクトがタイの王室プロジェクトとして推進されています。

これは、農家をモデルとしていますが、私たちのように、一般的な生活をしている人々も、このモデルを参考に、自分たちの足るを知る生活を考えられるものとなっております。

この考え方がタイの人の中でももっともっと浸透して行けば、あまり先入観を持たずに参加できるこの国の人々は、きっと環境と共同した生活を取り戻せるのではないかと思います。（今も共同している人はたくさんいます）

（……後略……）

今年は干ばつ 難民キャンプの火災の原因か

(21-4　青少年活動　飯塚紗彩さんより

第 1 報　12/5/10 着)

(…前略…)

近日訓練所での報告があると言う事でしたので、こちらの近況をお知らせをさせて下さい。

去年は洪水一色だったタイ。現在は干ばつです。タイ全国の多くの地域で水不足です。

天気予報の中にある水不足の地図では、東北地方だけでなく、南部や他の地域でも赤く示されている所が多いです。（赤＝ひどい水不足）

そして最近は雨季に入る季節の変わり目で、猛暑と豪雨の日々です。

今回お知らせしたかったのは、先日、原因ははっきりとわかっていませんが、私たち JV も支援活動をさせて頂いているタイ北部ターク県メーソート（ミャンマー国境）にあるメラ難民キャンプで火災が起きたことです。

数ヶ月前にも別のキャンプで火災が起きましたが、今回はメラキャンプ。さらに私たちが毎年訪問しているゾーン C の中の学校から火が出たとのことでした。

私も2度程訪問させて頂いており、交流のある子ども達もいる地域ですので、非常に心配でした。

火はすぐに消し止められ、また負傷者も出なかったのが本当によかったと思います。

しかし、難民キャンプのような閉ざされた環境で、培ってきたものが一瞬にして消えてしまうのは、相当なショックだと思います。

現地の人（カレン族の人々）の話に寄ると、キャンプの中はものすごい暑さで、それが原因で火災になったのではという声が多いです。

この火災は、ニュースにもなっていませんが、私の知り合いからの連絡と、このキャンプでも活動している NGO からの連絡で情報を知りました。

山の中に居る人たちの声からは、やはり明らかに気候変動は起きていて、前はこうではなかったのに、という声をよく聞きます。

本来電気などをあまり使わず、自然と共存している人々の所にやはり影響が及んでいます。

私自身、生活を 急には出来ませんが、少しずつ見直し、自分の背丈にあった生活を、足るを知る生活を送れるよう、精進したいと思います。

では、参考になれば幸いです。

日本も雨が続いていると聞いています。お身体ご自愛ください。

21－4 タイ青少年活動 飯塚紗彩

（第 2 報 12/5/13 着）

（…前略…）

こちらの気象は、洪水で大騒ぎしていたのに、次は干ばつ。

洪水の際、ただの洪水ではなく、ダムの決壊を恐れて水門を開いたために多くの地域が犠牲になりました。なのに、今度は干ばつか。。となんだか虚しくなるような感覚もあります。

私の周りでは、政府に対して（対策に対してだと思います）の不満の声も聞こえてきます。

ダムの水の使い方、わたしもまだよく把握しているわけではないですが、もう少しよい利用方法があるのではないかとも思います。と言うのは、水の少ない時期にもっと農業などに使えればいいのにと感じる事が多い反面、洪水では水門を開かざるを得ない。さらにそれで犠牲になるのは、農家の人や田舎の人で、洪水で農作物はだめになり、さらに干ばつでだめになる。

これでは、国の重要な「農業」は成り立ちません。そして若者が農離れしていきます。

日本もそうでしたでしょうか。

個人的に、テクノロジーも大切ですが、命を支える「農」は重要であり、タイは現在まだ農業が残っているので、これ以上農離れし、自給自足が出来なくなるような国にはなって欲しくないという想いもあります。

（…後略…）

21－4 タイ青少年活動 コンケン県教育科学センター
飯塚紗彩

《PR》

当会のこの報告書は、JICA広報誌

JICA's World 2009年11月号

で取り上げられました。

ぜひご一読を！

http://www.jica.go.jp/publication/j-world/0911/index.html より閲覧ができます。

温暖化による被害は日本以上に、社会基盤が脆弱で資金や技術の乏しい開発途上国で顕著に現れている。しかしそうした実態は、これまで日本人の言葉で日本人に向けて語られることは決して多くなかった。

いま聞こえてきた地球の悲鳴―。

開発途上国で現地の生活に溶け込み、そこに暮らす人々とともに活動するJICAボランティアから、彼らだからこそ知り得るその貴重な証言が届けられた。

編集協力：青年海外協力隊愛知県OB会
協力：国際環境 NGO「FoE Japan」

多くの方のご協力を得ながら、今後も関係者のみならず市民の皆様にも途上国の実態をお届けしていきたいと思います。気候変動問題でも途上国が忘れられないよう、皆様のご理解･ご協力をお願いします。

青年海外協力隊　愛知県OB会　**担当：途上国と気候変動問題研究委員会**